

# 授業改善！「学び手としての主人公」になる ICT 活用

児童生徒は一人一人異なっていると認識し、  
それぞれの学びがベストになる授業改善

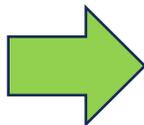
① 5つの視点のうち、どの視点を取り入れて学習活動を改善するかを考えます。



教師の授業改善に関わる ICT 活用 5つの視点



- A 多様性に対応する
- B 多様性を生かす
- C 学びの状況をとらえさせる  
・とらえる
- D ベストミックスに組み合わせる
- E 教室外とつなぐ



② 児童生徒がどのタイミングでどの機能を活用すれば視点の効果が出るのか考えます。それは、3つのキーワードに整理できます。



児童生徒の学び方に関わる ICT 活用 3つのキーワード



- ア 必要なタイミング  
機能は共通、活用する時は自分の必要な時に
- イ ICT(機能)を取捨選択  
機能は自分の必要なものを、活用する時は共通
- ウ いつでも自由に  
機能も活用する時も、自分の必要なものを必要な時に



視点やキーワードについて考える過程が、授業改善につながります。

視点とキーワードを関係付けた実践事例も授業改善の参考にしてください。  p11-28



資料特設サイト（各校での授業研究、研修にご活用ください）

<https://www.kagawa-edu.jp/educ01/section/research/jouhou#frame-963>

- ・ 研究発表冊子 P6 (PDF)
- ・ 情報活用能力 学習目標リスト (Excel)
- ・ 教師のスキル表 (PDF)
- ・ 児童生徒のスキル表 (PDF)
- ・ 研究発表冊子全体 (PDF)

